JIS

鋳鉄用被覆アーク溶接棒，ソリッドワイヤ， 溶加棒及びフラックス入りワイヤ

JIS Z 3252 : 2012

(JWES/JSA)

平成 24 年 3 月 21 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 溶接技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	粟飯原 周二	東京大学
(委員)	伊勢典浩	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	榎本正敏	一般社団法人軽金属溶接協会
	太田幸男	高圧ガス保安協会
	小俣和夫	三井造船株式会社
	北田博重	一般財団法人日本海事協会
	吉良雅治	社団法人日本産業機械工業会
	小見山輝彦	社団法人日本溶接協会
	齊藤博	社団法人全国鐵構工業協会 (萩浦工業株式会社)
	下村孝	社団法人日本鉄道車輛工業会
	竹本正	大阪大学
	戸河里敏	社団法人日本建設業連合会 (鹿島建設株式会社)
	中田一博	大阪大学
	中野利彦	株式会社神戸製鋼所
	山根敏	埼玉大学
	横野泰和	社団法人日本非破壊検査協会 (ポニー工業株式会社)

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 36.12.1 改正：平成 24.3.21

官 報 公 示：平成 24.3.21

原 案 作 成 者：社団法人日本溶接協会

(〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4-20 溶接会館 TEL 03-5823-6324)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：溶接技術専門委員会 (委員長 粟飯原 周二)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類及び記号の付け方	2
5 品質	3
5.1 寸法, 許容差及び製品の状態	3
5.2 化学成分	3
6 試験方法	7
6.1 ロットの決め方	7
6.2 分析試験	7
7 検査方法	7
8 製品の呼び方	7
9 包装	8
10 表示	8
10.1 製品の表示	8
10.2 包装の表示	8
11 検査証明書	8
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	9
解 説	12

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人日本溶接協会（JWES）及び財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS Z 3252:2008** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

鋳鉄用被覆アーク溶接棒，ソリッドワイヤ，溶加棒 及びフラックス入りワイヤ

Covered electrodes, solid wires, rods and flux cored wires for cast iron

序文

この規格は、2003年に第2版として発行されたISO 1071を基とし、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

JIS Z 3252:2001においては、適用範囲を被覆アーク溶接棒に限定していた。一方、今回の改正の基となったISO 1071は、被覆アーク溶接棒以外についても規定している。今回、国際規格との整合化に当たり、適用範囲をISOに合わせることにした。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。

1 適用範囲

この規格は、鋳鉄の溶接に使用する次の溶接材料について規定する。

- a) 被覆アーク溶接棒
- b) ガスシールドアーク溶接用ソリッドワイヤ（以下、ソリッドワイヤという。）
- c) ティグ溶接用溶加棒及びガス溶接用溶加棒（以下、溶加棒という。）
- d) ガスシールドアーク溶接用及びセルフシールドアーク溶接用フラックス入りワイヤ（以下、フラックス入りワイヤという。）

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 1071:2003, Welding consumables—Covered electrodes, wires, rods and tubular cored electrodes for fusion welding of cast iron—Classification (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS G 0320 鋼材の溶鋼分析方法

JIS G 0321 鋼材の製品分析方法及びその許容変動値

JIS G 0404 鋼材の一般受渡し条件

JIS G 1326 フェロニッケル分析方法

JIS H 1151 ニッケル地金分析方法